



特定非営利活動法人STスポット横浜
平成31年度 事業報告書

令和2年3月31日

ごあいさつ

S T スポット横浜は「アートと市民社会の新しい関係づくりを推進するとともに、アートの持つ力を現代社会に活かし、より豊かな市民社会を創出すること」を目的として活動を続けています。

東京オリンピック・パラリンピック開催にともなう国主導の文化プログラム、都市の活性化を企図した横浜市の新劇場建設などを含めて、文化芸術界隈はバブル的隆盛の状況をこれまで呈していました。しかし2月以降その雰囲気は一転し、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組に注力するため、転換を迫られました。

S T スポット横浜では、小劇場S T スポットが事実上の休館を余儀なくされるなど、各事業に甚大な影響を及ぼしています。リモートワークを駆使しながら作成した今年度の事業報告書は、「コロナ前」の記録として、今後大きな意味を持つでしょう。

厳しい状況ですが、引き続き今後とも、みなさま方からの暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特定非営利活動法人S T スポット横浜

理事長 小川智紀

目次

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部	2
1. S T スポットの施設運営	2
2. 自主事業	4
教育普及・交流促進事業／地域連携事業部	7
1. 教育事業	7
2. 地域事業	10
3. 福祉事業	13
4. その他	14
事務局	15
2019（平成31）年度財務諸表	16

施設運営・創造発信事業／創造環境事業部

1. STスポットの施設運営

STスポットは過年度から引き続き、利用者の安全と使いやすさを重視した施設管理運営と舞台芸術の創造拠点としてアーティストの育成やサポートを行う自主公演事業等の充実を目指してまいりました。

施設管理運営事業では、昨年と同数の稼働率で安定した施設提供を行いました。劇場利用経験の少ない団体へのサポートを続けてきたことにより、昨年度より利用団体数の増加へとつなげることができました。

【表1：STスポット年間開館状況】

項目	今年度	昨年度	備考
開館日	343日	347日	
稼働日	250日	250日	
稼働率	72.9%	72.0%	稼働日÷開館日
開館率	71.0%	71.0%	開館日÷350日*
プログラム数	65本	73本	
利用団体数	30団体	22団体	

*ビル休館日およびメンテナンス休館を除いた年間稼働可能日数

【表2：STスポット年間利用状況】

項目	今年度	昨年度	備考
STスポット総入場者数	8,119人	10,134人	
利用団体観客数	4,385人	4,932人	
利用団体スタッフ数	1,238人	1,455人	
事業観客数	2,016人	2,915人	
事業スタッフ数	480人	832人	

【表3：STスポット月別開館状況】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開館日	25	29	29	31	30	30	30	30	29	26	29	25	343
稼働日	16	14	20	19	28	28	25	28	23	19	27	3	250
稼働率	64.0%	48.3%	69.0%	61.3%	93.3%	93.3%	83.3%	93.3%	79.3%	73.1%	93.1%	12.0%	72.9%
一般利用	2	3	4	4	5	4	5	3	4	1	3	0	38
自主事業他	1	1	1	3	1	2	6	3	2	3	3	1	27
プログラム数	3	4	5	7	6	6	11	6	6	4	6	1	65

【表4：STスポット稼働日内訳（種目別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般利用	15	11	14	13	19	19	16	7	18	6	11	1	150
自主事業他	1	3	6	6	9	9	9	21	5	13	16	2	100
稼働日	16	14	20	19	28	28	25	28	23	19	27	3	250

【表5：STスポット稼働日内訳（ジャンル別）】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
演劇	14	9	12	7	24	24	15	20	17	17	16	0	175
ダンス	0	0	4	2	0	0	0	0	2	0	5	0	13
音楽	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
稽古	0	0	1	4	1	3	4	8	0	1	4	2	28
講座	1	2	2	4	0	0	3	0	3	1	0	0	16
その他	1	3	1	2	3	1	0	0	1	0	2	1	15
稼働日	16	14	20	19	28	28	25	28	23	19	27	3	250

【表6：利用団体一覧】

団体名	タイトル	利用期間
舞台集団 S.P.P.K	vol.2 『楽屋～流れ去るものはやがてなつかしき～』	2019年4月11日(木)～4月14日(日)
虹の素	#08 『みなとみらい』	2019年4月15日(月)～4月24日(水)
日本と台湾を学ぶつどい	『Taiwanlover's day 5月5日大人子供の日スペシャル』	2019年5月5日(日)
劇団一生のお願い!	第6回公演 『劇団 山田のぞみ』	2019年5月17日(金)～5月19日(日)
演劇ユニット TEAM UPDATE	Ver1.5 番外公演 『FEVER～眺め続けた展望の行方』	2019年5月23日(木)～5月26日(日)
PUNKBUNK	第4回公演 『サイラージェリー』	2019年5月31日(金)～6月2日(日)
はねるつみき	その2 『ばよんばよんと聞こえぬ』	2019年6月10日(月)～6月16日(日)
劇団「無題」	第24回公演 『お昼短し恋せよ盗め!』	2019年6月28日(金)～6月30日(日)
劇団傷痕	旗揚げ公演 『ダイヤモンドな俺たち』	2019年7月12日(金)～7月15日(月)
DANCETERIA-ANNEX	音楽劇 『Hamlets!』	2019年7月26日(金)～7月28日(日)
チリアクターズ	第17回公演 『ゆらぎ、碧い鳥、』	2019年7月30日(火)～8月4日(日)
カミグセ	『カミグセ短編集 vol.2』	2019年8月6日(火)～8月11日(日)
nagana-wa	second contact 『失われた命』	2019年8月14日(水)～8月18日(日)
金曜リキッド	#1 『スコトーマ』	2019年8月22日(木)～8月24日(土)
演劇ユニットMR2	『表に出ろいっ!』	2019年9月14日(土)～9月16日(月)
シラカン	第6回公演 『蜜をそ削ぐ』	2019年9月18日(水)～9月29日(日)
新井収と川村玲於奈の二人芝居	『ハリキル』	2019年9月30日(月)～10月2日(水)
キリグス	『MOTHER LAND』	2019年10月7日(月)～10月11日(金)
MMT パントマイム	『不思議の国のアリス』 & 「ゴドーを待ちながら」より 『あなたは誰を待っていますか?』	2019年10月24日(木)～10月26日(土)
一刻者	第四回公演 『Magic 昏』	2019年10月27日(日)～10月31日(木)
女たちのオンステージ	『メンヘラ・エチュード』 『カナリヤの記憶』 +トーク	2019年11月1日(金)～11月3日(日)
劇団「無題」	第25回本公演 『Never Ending Station』	2019年11月22日(金)～11月24日(日)
チリアクターズ	リビルド vol.1 『それより、ゆび』	2019年12月3日(火)～12月8日(日)
劇団ペリどっと	第7回公演 『それでも僕らはアンチノミー・フィリア』	2019年12月12日(木)～12月15日(日)
劇団 Salon de 自由席	旗揚げ公演 『ある平凡な月日の物語』	2019年12月20日(金)～12月22日(日)

演劇ユニット TEAM UPDATE	Ver2.0 忘年公演 『TIMER's HIGH』	2019年12月26日(木)～12月29日(日)
劇団スクランブル	『Science Fiction's』	2020年1月21日(火)～1月26日(日)
株式会社アットマーク・ソリューション	第一回舞台公演 『恋してデモクラシー』	2020年2月1日(土)・2月2日(日)
劇団 FAX	東京凱旋公演 『イスマネ』	2020年2月21日(土)～2月24日(月・祝)
犬猿も仲	第二回本公演 『ボーダーラインは縦に引けないのか?』	2020年2月27日(木)～2月29日(土)

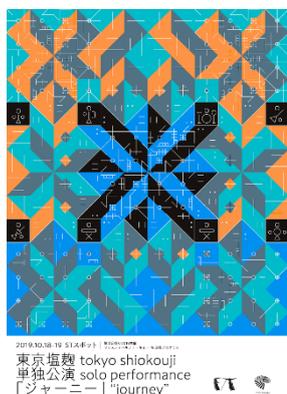
2. 自主事業

自主公演事業は、横浜音祭り2019の共催公演として東京塩麴による単独ライブ『ジャーニー』とコンテンポラリーダンスのショーケース企画『ラボ 20#22』を行いました。(『ラボ 20#22』の最終発表公演は新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休館に伴い開催延期) どちらのプログラムも若手のアーティストに焦点を当て、STスポットの空間を存分に活かしながら独自の表現方法を追求し、挑戦する場となりました。

共催事業では中堅世代のアーティストの公演を中心に展開しました。活動を重ねてきた世代ならではの厚みのある表現で、社会へ鋭い眼差しを向けた意欲的な作品発表の機会となりました。

ワークショップ事業での新たな取り組みとして、横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 Y-GSC 平倉圭研究室との共催企画として表現を身体と言語から考えるワークショップを行い、地域の教育機関と連携しました。

1. 主催事業



横浜音祭り2019 共催

フェスティバル/トーキョー19 連携プログラム

東京塩麴『ジャーニー』

2019年10月18日(金)・10月19日(土)

出演：東京塩麴 作曲：額田大志 映像：タカラマハヤ 全3回 動員127人

人カミニマル楽団・東京塩麴による”ローカルな旅”をテーマに掲げた新作楽曲での音楽ライブを開催しました。「音楽で音楽以外のことを描く」ことを目指した演出は、全編が映像とともに進行し、劇場空間にいながらあらゆる空間と時間を行き来するような、まさに”旅”のようなパフォーマンスとなりました。演奏者と観客の「演奏する」「鑑賞する」という垣根を越えた音楽の共有のあり方のアップデートに取り組んだ、試行にあふれる公演となりました。



『ラボ 20#22』

中間発表 2019年12月1日(日) 全1回 動員11人

最終発表 2020年3月6日(金)～3月8日(日) ※公演延期(2020年12月開催予定)

キュレーター：福留麻里

出演：飯塚大周、田村興一郎、チーム・チープロ、宮脇有紀、涌田悠

コンテンポラリーダンスにおける若手作家の発掘・育成を目的としたダンスショーケース「ラボ 20#22」を行いました。22回目の開催となる今回はダンサー・振付家の福留麻里をキ

キュレーターに迎え、オーディションで5組のアーティストを選出しました。当企画は作品をただ発表するだけに留めず、キュレーターは創作過程から丁寧に出演者と併走し、試行を積み重ねました。それぞれが”今現在”の身体と課題に向き合った意欲的な作品となりました。



2. 共催・提携・協力事業

(1) 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 Y-GSC 平倉圭研究室

岩淵貞太ワークショップ「カラダを味わう」

山本浩貴ワークショップ「奇跡、嘘、信(救い投げだす身ぶり)」

共催 2019年5月14日・5月28日・6月4日・6月25日・7月9日・7月16日

全6回 動員92人

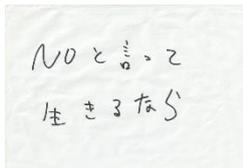


(2) DJナイト『地下波』

協力 2019年6月22日 全1回 動員27人

(3) 手塚夏子ワークショップ～身体や関わりを観察してインストラクションを作る～

共催 2019年7月22日・7月23日 全4回 動員27人



(4) Floating Bottle Project 『点にダイブする』再演と検証の2日間

共催 2019年7月24日・7月25日 全2回 動員16人

(5) 東京デスロック 『Anti Human Education』

共催 2019年8月31日～9月8日 全8回 動員344人



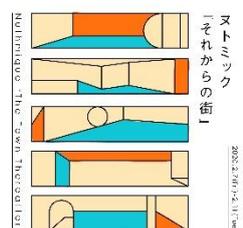
(6) 福留麻里×村社祐太郎『時出』公開通しリハーサル

協力 2019年10月15日 全1回 動員11人

(7) かえるP ダンスのために、踊らないであれこれを考える会 Vol.1

「ダンスのための言葉を考える、身につける」

協力 2019年10月21日・10月22日 全2回 動員17人



(8) オフィスマウンテン『NOと言って生きるなら』

共催 2019年11月5日～11月17日 全10回 動員382人

(9) オフィスマウンテン 山縣太一ワークショップ

協力 2019年12月9日・12月16日・12月23日 全3回 動員45人

(10) 岡崎藝術座『ニオノウミにて』

共催 2020年1月11日～1月19日 全10回 動員485人



(11) ストミック『それからの街』(TPAM2020フリンジ STスポットセレクション vol.3)

提携 2020年2月7日～2月11日 全3回 動員485人

(12) 岡田智代×大谷能生『カシオペアの背中』

(TPAM2020フリンジ STスポットセレクション vol.3 参加)

共催 2020年2月14日～2月16日 全8回 動員370人

【表7：主催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ (人)	スタッフ のべ (人)
東京塩麴『ジャーニー』	2019年10月18日・10月19日	3,000	3	127	24	10
ラボ 20#22 中間発表	2019年12月1日	0	1	11	8	1

【表8：共催事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
横浜国立大学大学院都市イノベーション 研究院 Y-GSC 平倉圭研究室 岩淵貞太ワークショップ「カラダを味わう」 山本浩貴ワークショップ「奇跡、嘘、信(救 い投げだす身ぶり)」	2019年5月14日・5月28日・6月4 日・6月25日・7月9日・7月16日	0	6	92	12	12
手塚夏子ワークショップ～身体や関わりを 観察してインストラクションを作る～	2019年7月22日・7月23日	2,000	4	27	4	8
Floating Bottle Project 『点にダイブ する』再演と検証の2日間	2019年7月24日・7月25日	500	2	16	2	5
東京デスロック 『Anti Human Education』	2019年8月31日～9月8日	3,500	8	344	40	48
オフィスマウンテン 『NO と言って生き るなら』	2019年11月5日～11月17日	3,000	10	382	40	57
岡崎藝術座『ニオノウミにて』	2020年1月11日～1月19日	3,000	10	485	30	50
岡田智代×大谷能生『カシオペアの 背中』	2020年2月14日～2月16日	3,000	3	77	6	10

【表9：提携事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
ストミック『それからの街』	2020年2月7日～2月11日	3,000	8	370	35	48

【表10：協力事業一覧】

公演名	期間	入場料 (円)	回数 (回)	動員 (人)	出演者 のべ(人)	スタッフ のべ(人)
DJ ナイト『地下波』	2019年6月22日	2,000	1	12	3	0
福留麻里×村社祐太郎『塙出』公開 通しリハーサル	2019年10月15日	1,000	1	11	2	2
かえる P ダンスのために、踊らないであ れこれを考える会 Vol.1「ダンスのための 言葉を考える、身につける」	2019年10月21日・10月22日	1,500	2	17	6	8
オフィスマウンテン 山縣太一ワークショップ	2019年12月9日・12月16日・12月 23日	2,500	3	45	3	6

教育普及・交流促進事業／地域連携事業部

1. 教育事業

横浜市文化観光局、横浜市教育委員会、横浜市芸術文化振興財団と協働して、文化施設・芸術団体と市内の小・中・義務教育・特別支援学校が連携して芸術文化の取組みを行うために「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設置し、事務局代表団体として事業の進行管理を行いました。

学校現場に対する直接的な取組みとしては、令和元年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業－コミュニケーション能力向上事業－」と横浜市の事業を連動して、小学校・特別支援学校4校にてコーディネートを行いました。そのほか、昨年度に引き続き、不登校状態にある児童生徒の支援施設における取組の試行として、ハートフルルーム十日市場にてコーディネートを行いました。



1. 学校と文化施設・芸術団体の連携による基盤整備

令和元年度横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局の運営の一環として、学校において子どもたちが創造的な体験をできるプログラムを、コーディネーター、アーティストおよび教師が協力して実施できるように具体的な調整を行い、適宜学校やアーティストからの相談を受けました。また、過去の実績の蓄積や、広報（記者発表、ニュースレター発行、独自ドメイン取得によるホームページ運営）を行いました。あわせて令和2年度実施に向けての要項・募集案内を作成し、横浜市内の市立小・中・義務教育・特別支援学校に広報を行いました。

このほか、教師および文化芸術関係者等のためのワークショップとして実施した内容は、次のとおりです。

(1) 教師のためのワークショップ（美術）

日時：2019年7月26日、10：15～16：00

2019年8月2日、13：00～16：45

会場：横浜美術館・8階、展示室、市民のアトリエ

7月26日は小学校図画工作科研修として、8月2日は中・高等学校美術作科研修として、として実施。横浜市内の小・中・特別支援学校、高等学校の主に図画工作科、美術科の教員55人が参加。横浜美術館教育普及グループ教育プロジェクトと、市民のアトリエのコーディネートにより、「対話による鑑賞」と、ゴム版を使った「一版彫り進み技法」をテーマとした研修を行いました。

(2) 教師のためのワークショップ（ダンス）

日時：2019年10月2日、15：30～16：45

会場：横浜国立大学東小学校・音楽室

横浜市特別支援教育研究会・情操運動部会研修会として実施。S T スポット横浜によるコーデ

ィネートで入手杏奈さん（ダンサー・振付家）が個別支援学級の教員向けに実技を盛り込んだ内容で講座を行いました。障害のある子どもたちを対象に想定したさまざまなアプローチを体験し、身体を動かすことで自分を伝えることになるのだと実感できる時間となりました。

（３）文化芸術関係者のためのワークショップ「コーディネーター会議」

日時：2019年7月4日、10：00～11：30

会場：旭区民文化センターサンハート・ホール

今年度に学校でのプログラムを担当するコーディネーターがあつまり情報交換を行う「コーディネーター会議」を実施し、総勢32名が集まりました。担当する学校とのプログラムを調整する際に起きる課題の整理や、過去に蓄積したプログラムのノウハウの情報交換を行い、少人数でのディスカッションを行いました。

（４）横浜市芸術文化教育プラットフォーム・トークシリーズ

※新型コロナウイルスの影響により開催中止

日時：2020年3月4日、19：00～20：30

会場：鶴見区民文化センターサルビアホール 3Fリハーサル室

ゲスト：金子 正人（横浜市立南吉田小学校 校長）

日下 晋輔（鶴見国際交流ラウンジ 館長）

文化芸術・教育関係者に向けた、文化施設等の社会教育的役割について再考するトークイベント「多文化に生きる子どもたちの育ちの場」を企画しました。多文化に生きる子どもたちの育ちの場として、地域の文化施設が担えることはなにかを考えるきっかけが生まれることを期待しましたが、新型コロナウイルスの影響により開催は中止となりました。

2. 学校プログラムの実施

（１）横浜市立小学校・特別支援学校における実施

令和元年度文化庁「文化芸術による子供育成総合事業ーコミュニケーション能力向上事業ー」と横浜市の取組を連動させ、浅間台小学校、四季の森小学校、飯島小学校、上菅田特別支援学校の4校にてコーディネートをを行いました。

（２）不登校状態にある児童生徒の支援施設における実施

横浜市教育委員会と連携し、不登校状態にある児童生徒の支援施設であるハートフルルーム十日市場にてコーディネートを試行的に実施しました。

【表11：学校プログラムの対象校数等】

校種	今年度	昨年度
小学校	122校	126校
中学校	13校	6校
義務教育学校	1校	2校
特別支援学校	9校	8校
合計（校数）	145校	142校
合計（人数）	14,306人	14,091人

【表12：学校プログラムのジャンル・型別実施校数】

ジャンル	体験型	鑑賞型	合計
音楽	29校	18校	47校
美術	21校	4校	25校
演劇	6校	2校	8校
ダンス	15校	0校	15校
伝統芸能	21校	29校	50校
合計	92校	53校	145校

【表13：コーディネーター一覧】

アートNPOなど、民間の芸術団体（26団体）	地域の文化施設（10団体）
青葉区民文化センター フィリアホール	Media Global
泉区民文化センター テアトルフォンテ	NPO法人子どもに音楽を
栄区民文化センター リリス	NPO法人横浜こどものひろば
神奈川区民文化センター かなっくホール	NPO法人芸術家と子どもたち
港南区民文化センター ひまわりの郷	ART LAB OVA
旭区民文化センター サンハート	民族歌舞団荒馬座
鶴見区民文化センター サルビアホール	アートの時間
戸塚区民文化センター さくらプラザ	NPO法人Offsite Dance Project
緑区民文化センター みどりアートパーク	認定NPO法人あっちこっち
磯子区民文化センター 杉田劇場	NPO法人横浜シテリオペラ
大倉山記念館	急な坂スタジオ
久良岐能舞台	象の鼻テラス
長浜ホール	吉野町市民プラザ
岩間市民プラザ	横浜市民ギャラリー
横浜市民ギャラリーあざみ野	横浜美術館
横浜にぎわい座	横浜赤レンガ倉庫1号館
横浜みなとみらいホール	横浜能楽堂
関内ホール	神奈川県立音楽堂
	事務局構成団体（2団体）
	公益財団法人芸術文化振興財団 協働推進グループ
	認定NPO法人STスポット横浜

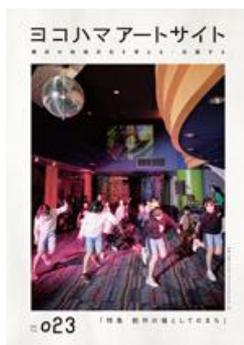
【表14：直接コーディネートを行った学校・施設一覧】

学校名	学年	ジャンル	アーティスト	日程	回数	参加者数
浅間台小学校	5年生	伝統芸能	山野安珠美（箏演奏家）	2019年12月16日、12月19日、12月23日	3	43
四季の森小学校	個別支援学級	ダンス	入手杏奈（ダンサー・振付家）	2019年9月6日、9月12日、9月18日、9月26日	4	11
飯島小学校	個別支援学級	美術	岩田とも子（アーティスト）	2019年11月26日、11月29日、12月10日、12月18日	4	32
上菅田特別支援学校	高1～3年生	美術	ドゥイ（造形ユニット）	2020年1月14日、1月16日、1月21日、1月28日	4	13
ハートフルルーム十日市場	中1～3年生	ダンス	福留麻里（ダンサー・振付家）	2019年9月19日、12月5日、12月12日	3	7

2. 地域事業

市民やNPO団体等が主体となって、市内の地域資源を活用し、地域住民と協力して継続的な事業を行っていく文化芸術活動の支援を行いました。市全域でのネットワークづくりやコミュニティの活性化を図るため、横浜市文化観光局、横浜市芸術文化振興財団と協働してヨコハマアートサイト事務局を構成し、事業を進行しました。

また、市域を離れた全国の事例を調査し検討するため研究会を運営し、アートの力を地域社会に活かしていく方途を模索しました。



1. 地域文化団体の助成金交付をはじめとしたサポート

ヨコハマアートサイト事務局として、助成金の交付対象事業を選考（申請 47 件中 29 件を採択）し、事業実施前・実施後におけるヒアリングを行うとともに、各団体の活動状況の視察を行いました。また、助成金交付を行い（助成総額：16,100,000 円）、参加団体の事業運営に関する相談に応じるなど、さまざまなかたちでサポートを行いました。

また、採択された事業などのネットワークづくりを支援するため、アートと地域のかかわりについて考える・交流する場「ヨコハマアートサイトラウンジ」を 4 回開催しました。また助成事業の報告会を企画しました。（新型コロナウイルスの影響により、報告会の開催は中止）

これらに並行する形で、横浜の地域文化を考える・応援するための冊子「季刊ヨコハマアートサイト」を発刊し、横浜市内の多様な文化のかたちを伝えました。3 カ月に 1 回のペースで定期刊行を続け、地域文化のサポートを目指しました。

2. 全国の事例収集と調査・研究

地域と文化に関わる中間支援の実践的な「機能」を議論するための研究会「地域と文化と制度の研究会」をアーツカウンシル東京とともに運営しました。今年度は日本文化政策学会第 13 回研究大会企画フォーラムにて、文化政策の変遷をたどる試みを行いました。

【表15：ヨコハマアートサイト 2019 助成対象事業一覧】

団体名	事業名	実施区
アーティストネットワーク+コンパス	会社まるごとギャラリー2019	金沢区
特定非営利活動法人アーモンドコミュニティネットワーク	アーモンド・凸凹コミュニティアート・プロジェクト	都筑区、青葉区ほか
NPO法人あっちこっち	アート・フォー・コミュニティ～若手アーティスト達が人と地域コミュニティをつなぐための次のステップ事業～	中区
石川町ストリートアートプロジェクト実行委員会	石川町アートプロジェクト	中区
磯子区障害者地域活動ホーム	ダンスと、音楽と、造形のワークショップ～豊かな当たり前にむけた取り組み～	中区
居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会	カドベヤ・オープン DAY—つどおう・かたろう・つながろう	中区

特定非営利活動法人 Umi のいえ	親子のためのアート&ライブイベント「しあわせのはじまり」	西区
大岡川アートプロジェクト実行委員会	大岡川アートプロジェクト「光のぷろむなあと 2019」	南区
金沢文庫芸術祭実行委員会	第 21 回金沢文庫芸術祭	金沢区
紙芝居文化推進協議会	第 20 回手づくり紙芝居コンクール	西区
黄金町 BASE	黄金町 BASE	中区
ココロはずむアート展実行委員会	ココロはずむアート展	緑区、青葉区、都筑区
さかえ egao プロジェクト	さかえ egao フェスティバル	栄区
NPO 法人打楽器コンサートグループ・あしあと	こころに響く打楽器作っちゃお♪	戸塚区、中区、南区、西区
都筑アートプロジェクト	土地の記憶から生まれるアート「田んぼの向こうのこどもの国」	緑区
ティーンズクリエイション組織委員会	ティーンズクリエイション 2019	栄区
東横フラワー緑道フェスタ実行委員会	東横フラワー緑道アートフェスタ	神奈川区
Picture This Japan	Picture This Japan 2019 : 横浜国際ナショナルユースフォトプロジェクト	中区、南区、栄区、都筑区
特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜	未来に繋ごう、みんなの！！横浜の！！歴史・文化・芸術！！～美術品修復プロジェクト～	中区
病院と地域の協働によるおまつり実行委員会	病院と地域とアートでつくるおまつり	神奈川区
NPO法人ぶかぶか	みんなでワークショップ	緑区
本牧子どもディスコ実行委員会	本牧子どもディスコ season5	中区
ゆたかなイばしょ運営委員会	ゆたかなイばしょのさがしかた	中区
洋光台ママゴスペルサークル ないろハーマニー	Happy Place for Mom ～ ママのためのゴスペルワークショップ～	磯子区、港南区、栄区
横浜キネマ倶楽部	幻の記録映画『寿ドヤ街 生きる 1 & 2』上映会 in 寿町（横浜市中区）70 年代の鶴見を記録した映画『日曜日の子供たち』上映会 in 鶴見（横浜市鶴見区）	中区、鶴見区
横浜下町パラダイスマつり実行委員会	横浜下町パラダイスマつり 2019+よこはま若葉町多文化映画祭 2019	中区、南区、西区
一般社団法人横浜若葉町計画	若葉町ウォーフ「まちなかギャラリー」	中区
LifeWorks プロジェクト	横浜を舞台にした映画プロジェクト「ライフワークス」への製作、活動助成	市内全域
LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA	LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA ART PROGRAM 2019 ～子ども未来を切り開くグローバルアート活動～	西区

【表16：ヨコハマアートサイトラウンジ・事業報告会一覧】

回	企画名	テーマ	開催日	主な出演者（敬称略）	会場	協働団体
22	地域発・アートでまちと福祉を考える	アートと福祉の今後や、コミュニティ・まちの活性化	2019 年 8 月 24 日(土)	大平由子（さかえ egao プロジェクト）、岩上百合子（さかえ de つながるアート）、竹本真紀（美術家／第七回 egao フェスティバルメインアーティスト）	さんぼみち～アート de スマイル	さかえ egao プロジェクト
23	アートと考える子どもが育つ場所のこと	子育てを取り巻く市民活動と行政・企業の連携	2019 年 11 月 24 日(日)	望月実音子（LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA）、原美紀（認定 NPO 法人びーのびーの）、くぜじゅんき（株式会社ダッドウェイ）	港南台タウンカフェ	—
24	地域の素材でうまれる・つながる	アップサイクル、企業とアーティスト、地域とのつながり	2020 年 1 月 9 日(木)	男澤誠（一般社団法人横浜もの・まち・ひとづくり）、田中清隆（アーティストネットワーク+コンパス）、杉山孝貴（黄金町 BASE）	高架下スタジオ Site-D	—
25	まちとアーティストが出会った	まちを舞台にした作品創作	2020 年 2 月 16 日	山田カイル（若葉町ウォーフ）、安武宗吾（磯子区障害者地域活動ホーム）、福田毅	Kosha33 ホール	TPAM

ら	日 (日)
報告会 【中止】横浜のまちと歩む 29 のアート活動	ヨコハマアートサイト 2019 参加事業の報告 2020 年 3 月 15 日 戸館正史 (愛媛大学社会共創学部助教、松山ブンカ・ラボ ディレクター)、古賀桃子 (特定非営利活動法人 ふくおか N P O センター 代表) Y C C ヨコハマ創造都市センター

【表 17 : 季刊ヨコハマアートサイト一覧】

号	特集	発行月	主に取り上げた事業や場所
20	横浜の装い	2019 年 6 月	Tweed books (神奈川区)、ハドソン靴店 (神奈川区)、スタージュエリー (中区)、恵比寿クリーニング (南区)、横浜市陶芸センター (中区)、THE PUSH×ニシユキキものコンサート (中区)、「装いの横浜チャイナタウン—華僑女性の服飾史」展 (中区)、「アトリエたちの動物園」展 (中区)、DIVERSITY IN THE ARTS (港北区)
21	アートと子育て	2019 年 9 月	LITTLE ARTISTS LEAGUE YOKOHAMA (中区)、特定非営利活動法人 Umi のいえ (西区)、ぱんどえいど〜ず (都筑区)、こどもの本のみせ ともだち (港北区)、アートサイトラウンジ vol.21 (中区)、横浜市民ギャラリーあざみ野 (青葉区)、あっぱれフェスタ (旭区)、紙芝居指導者研修 (南区)、さかえ egao プロジェクト (栄区)、夏だ!海だ! ディスコ de 盆 (神奈川区)
22	素材が循環するまち	2019 年 12 月	黄金町 BASE (中区)、かんきょうデザインプロジェクト (中区)、アーティストネットワーク+コンパス (金沢区)、一般社団法人横浜もの・まち・ひとつくり (都筑区)、アートサイトラウンジ vol.22 (栄区)、大倉山記念館 (港北区)、第 21 回金沢文庫芸術祭 (金沢区)、森のユルタでハンドパン演奏 (緑区)、ココロはずむアート展 (緑区)、「日曜日の子供たち」上映会直前撮影現場訪問 (鶴見区)
23	創作の場としてのまち	2020 年 3 月	本牧こどもディスコ (中区)、若葉町ウオーフ (中区)、あいさつシリーズ Vol.1 こんにちは おどって うたって つくろうよ (中区)、山内健司さん (中区)、アートサイトラウンジ vol.23 (港南区)、横浜市民ギャラリー (西区)、えいぞうワークショップ、竹あかりワークショップ (神奈川区)、クリスマス廃材楽器ワークショップ (中区)、さかえ egao フェスティバル (栄区)、表現の市場 (緑区)

【表 18 : 地域と文化と制度の研究会】

回	企画名	開催日	メンバー (敬称略)
1	検討会 1	2019 年 10 月 10 日	佐藤李青 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史 (愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター)、小川智紀、田中真実
2	検討会 2	2019 年 11 月 15 日	佐藤李青 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史 (愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター)、小川智紀、田中真実
3	文化政策学会にむけた情報交換	2019 年 12 月 4 日	伊藤裕夫 (元富山大学)、佐藤李青 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史 (愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター)、小川智紀、田中真実
4	日本文化政策学会第 13 回研究大会企画フォーラム III-A 「阪神・淡路大震災後に文化政策は変わったのか?— 「災間」の文化政策を目指して」	2019 年 12 月 22 日	佐藤李青 (アーツカウンシル東京プログラムオフィサー)、戸館正史 (愛媛大学社会共創学部助教/松山ブンカ・ラボ ディレクター)、小川智紀、田中真実

3. 福祉事業

平成 31 年度かながわボランティア活動推進基金 21・協働事業負担金として、「地域における障害者の文化芸術体験活動支援事業」を、文化庁委託事業令和元年度障害者による文化芸術活動推進事業(文化芸術による共生社会の推進を含む)として「横浜芸術文化・障害福祉プラットフォーム形成事業」を実施しました。



1. ワークショップ実施事業

神奈川県内での取り組みとして、県内の障害福祉サービス事業所等 3 か所に対してのべ 10 回芸術家を派遣し、施設の希望に応じてダンスと音楽の文化芸術体験を実施しました。また横浜市内では、障害福祉サービス事業所等 2 か所に対してのべ 6 回芸術家を派遣し、施設の希望に応じてダンスと美術のワークショップを行いました。

2. コーディネーター育成事業

「“わたし”と“あなた”の関係づくり」をテーマに、主に芸術文化関係者を対象とした勉強会を 4 回と報告会を 1 回実施し、のべ 141 人が参加しました。今回は特に芸術文化分野の関係者が多く参加し、関心の高さを感じました。また、横浜市南区障害者作業所連絡会から依頼があり、障害者との文化芸術活動について、福祉施設職員向けのレクチャーを行いました。S T スポット横浜の事業を紹介するとともに、講師にダンサーの岡田智代さんを招き、実際にダンスワークショップを体験していただきました。

3. 調査研究事業

今年度は横浜市内の地域文化拠点である区民文化センター 10 か所に対し、過去の公演や展示、教育普及プログラムにおける障害者の鑑賞・参加状況をヒアリングする実態調査を行い、共通課題を抽出しました。さらに、ヒアリング参加団体を集め、各施設の状況を共有する合同ヒアリングの機会を設け、今後障害者が実際に来館した時に、各館共通で有効に使用できると思われる、具体的なツール案を検討しました。

また調査研究の一環として、障害福祉サービス事業所等 8 か所、文化芸術団体 3 団体、自治体 3 か所、計 14 か所に現状の課題などをヒアリング調査しました。今年度の成果は報告書にまとめ、4000 部作成し、神奈川県内の福祉施設や文化施設を中心に配布しました。またウェブサイトでも公開しました。

【表19：ワークショップ実施事業一覧】

施設名	施種別	障害種別	ジャンル	アーティスト	日程	回数	人数
1 スプラウト	障害福祉サービス事業所	身体、知的	ダンス	白神ももこ(演出家、振付家、ダンサー)	2019年9月17日、9月25日、10月23日	3	29
2 みらまーる	地域活動支援センター	精神	ダンス	福留麻里(ダンサー、振付家)	2019年8月6日、8月30日、9月30日、10月29日	4	24
3 アガバサポートセンター	障害福祉サービス事業所	身体、知的	音楽	宮内康乃(作曲家)	2019年9月24日、10月28日、12月6日	3	21
4 みどり福祉ホーム	障害者地域活動ホーム	身体、知的	美術	伊東純子(アーティスト、デザイナー)	2019年10月21日、11月11日、18日	3	56
5 リエゾン笠間	障害者支援施設	身体、知的	ダンス	入手杏奈(ダンサー、振付家)	2019年12月11日、2020年1月15日、22日	3	56

【表20：コーディネーター育成事業一覧】

回	企画名	開催日	主な出演者(敬称略)	テーマ	人数	会場
1	横浜市南区障害者作業所連絡会研修	2019年9月13日	岡田智代(ダンサー・振付家)	ダンスワークショップを通し、福祉施設における文化芸術活動の活用法を考える	14	南福祉ホームむつみ
2	身体と身体の出会い	2019年9月27日	上村なおか(ダンサー・振付家)	ダンスを通じた障害のある人との出会いについて	18	ミューザ川崎シンフォニーホール
3	障害のある人との向き合い方～合理的配慮って？	2019年10月23日	又村あおい(全国手をつなぐ育成会政策センター委員・内閣府障害者差別解消法施行アドバイザー)	障害のある方への配慮について改めて考える機会とする	27	S T スポット
4	障害のある人の創作活動を支えるには	2019年12月5日	野崎美樹(NPO法人スローレーベル インクルーシブ・プロジェクトマネージャー)	障害のある人の創作活動を支えるためにできることは何か、一緒に考える	21	横浜市旭区民文化センター サンハート
5	障害のある人の声をきく	2020年1月27日	横浜ピアスタッフ協会、中村麻美(地域活動支援センターひふみ 施設長)	精神障害のある人たちの活動を地域に開く活動について	26	S T スポット
6	障害福祉と文化芸術の関わりを考える	2020年2月7日	伊東純子(デザイナー・アーティスト)、渡邊紘士(NPO法人みどり福祉ホーム 主任)、白神ももこ(演出家・振付家・ダンサー)、佐藤大輔(NPO法人スプラウト 管理者)、沼部勝(横浜市港南区民文化センター ひまわりの郷)、和田剛(障害者スポーツ文化センター ラポール上大岡 管理運営課)	今年度の活動報告とワークショップ事業の事例紹介	49	障害者スポーツ文化センターラポール上大岡

【表21：調査研究事業・横浜市区民文化センター ヒアリング先一覧】

ヒアリング先	日付	地域
1 栄区民文化センター リリス	2019年7月29日	横浜市栄区
2 港南区民文化センター ひまわりの郷	2019年7月31日	横浜市港南区
3 旭区民文化センター サンハート	2019年8月8日	横浜市旭区
4 青葉区民文化センター フィリアホール	2019年8月9日	横浜市青葉区

5	鶴見区民文化センター サルビアホール	2019年8月19日	横浜市鶴見区
6	神奈川区民文化センター かなっくホール	2019年8月20日	横浜市神奈川区
7	戸塚区民文化センター さくらプラザ	2019年8月28日	横浜市戸塚区
8	緑区民文化センター みどりアートパーク	2019年8月29日	横浜市緑区
9	磯子区民文化センター 杉田劇場	2019年10月3日	横浜市磯子区
10	泉区民文化センターテアトルフォンテ	2019年10月4日	横浜市泉区

【表22：調査研究事業・横浜市区民文化センター 合同ヒアリング】

回	企画名	開催日	内容	人数	会場
1	合同ヒアリング	2019年11月20日	障害者への対応のあり方について 意見交換を行なった	8	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール

【表23：調査研究事業・ヒアリング先一覧】

ヒアリング先	種別	日付	地域
1 生活介護スプラウト	障害福祉サービス事業所等	2019年4月9日	平塚市
2 おあしす湘南	障害福祉サービス事業所等	2019年4月15日	平塚市
3 みらまーる	障害福祉サービス事業所等	2019年4月22日	茅ヶ崎市
4 アガペセンター	障害福祉サービス事業所等	2019年6月7日	座間市
5 リエゾン笠間	障害福祉サービス事業所等	2019年5月8日	横浜市栄区
6 みどり福祉ホーム	障害福祉サービス事業所等	2019年5月16日	横浜市緑区
7 ひふみ	障害福祉サービス事業所等	2019年6月5日	横浜市神奈川区
8 神奈川県ライトセンター	障害福祉サービス事業所等	2019年12月17日	横浜市旭区
9 平塚市美術館	文化芸術団体	2019年4月25日	平塚市
10 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団	文化芸術団体	2019年6月13日	茅ヶ崎市
11 神奈川県民ホール	文化芸術団体	2019年6月19日	横浜市中区
12 平塚市障がい福祉課/文化・交流課	自治体	2019年4月25日	平塚市
13 茅ヶ崎市障害福祉課/文化生涯学習課	自治体	2019年6月10日	茅ヶ崎市
14 座間市障がい福祉課/生涯学習課	自治体	2019年6月21日	座間市

4. その他

・第2次小金井市芸術文化振興計画策定支援

小金井市芸術文化振興計画の策定にむけた事務局補助業務を行いました。

事務局

法人事務局として、部門の統括を行うとともに、広報宣伝などを行いました。

認定NPO法人化を機に開始した寄附獲得にむけての広報宣伝等を行うとともに、レクチャー・シンポジウムなどへの出演を積極的に行い、団体および事業の広報を行いました。また、大学やNPOとの連携を通して、インターンシップ等大学生の受入れを行いました。このほか年間を通して青山学院大学地域社会共生学部と連携し、大学生とともに、STスポット横浜の事業について、さまざまな方面から共同研究による考察を行いました。

【表24：レクチャー、シンポジウム等への出演】

企画名	会場	主催等団体	日付	担当など
宇都宮大学地域デザイン科学部「NPO論」	宇都宮大学陽東キャンパス	宇都宮大学	2019年5月30日	田中真実が登壇
アクションポート横浜インターンお見合い会	横浜市立大学ピオニーホール	NPO法人アクションポート横浜	2019年6月1日	田中真実が登壇
天鈿女命育成講座レクチャー「対話とnonverbal cue」	いつかベース	アーツカウンシルみやざき	2019年1月6日	田中真実が登壇
まなざしラジオ in 芸劇	東京芸術劇場シンフォニースペース	東京アール・ブリュットサポートセンターRights	2020年1月11日	小川智紀が登壇
桜美林大学「シアターマネジメント論」	桜美林大学	桜美林大学	2020年1月25日	高荷春菜が登壇
TPAM グループミーティング	横浜市開港記念会館	Theatre Company shelf	2020年2月12日	田中真実が登壇
愛知県豊川市ヒアリング	STスポット横浜2階事務所	愛知県豊川市	2020年2月27日	小川智紀、田中真実が対応

【表25：インターンシップ等の受入】

大学名	プログラム名	受入人数	備考
横浜市立大学	NPO インターンシップ	2	NPO法人アクションポート横浜のコーディネートによる

活動計算書

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

科目	金額 (単位:円)		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	120,000		
フレンドシップ会員受取会費	0		
入会金	0	120,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	135,000	135,000	
3. 受取助成金等			
受取助成金	0		
受取補助金・負担金	76,100,000	76,100,000	
4. 事業収益			
事業収入	1,764,632		
利用協力費	6,394,786		
受託費	8,726,530	16,885,948	
5. その他収益			
雑収入	103,024		
その他の収入	49,365		
繰入金収入	2,890,376	3,042,765	
経常収益計			96,283,713
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給与手当	25,116,158		
通勤費	1,020,816		
臨時雇賃金	1,048,000		
福利厚生費	4,418,587		
人件費計	31,603,561		
(2) その他経費			
諸謝金	5,154,428		
委託費	17,866,858		
助成費	16,100,000		
制作費	601,970		
消耗品費	1,557,504		
印刷費	1,735,450		
広報宣伝費	4,181,046		
旅費交通費	1,126,810		
支払手数料	106,123		
地代家賃	1,614,047		
会場借上費	198,892		
通信費	1,858,896		
会議費	855,131		
設備費	1,698,941		
リース料	338,436		
租税公課	866,785		
その他経費計	55,861,317		
事業費計		87,464,878	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	174,976		
通勤費	7,820		
福利厚生費	27,558		
退職給与繰出金	1,000,000		
人件費計	1,210,354		
(2) その他経費			
諸謝金	566,143		
租税公課	0		
設備緊急対策金	200,000		
繰入金支出	2,890,376		
その他経費計	3,656,519		
管理費計		4,866,873	
経常費用計			92,331,751
当期経常増減額			3,951,962
III 経常外収益			
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			3,951,962
法人税、住民税及び事業税			74,500
当期正味財産増減額			3,877,462
前期繰越正味財産額			16,244,162
次期繰越正味財産額			20,121,624

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和2年3月31日現在

1. 重要な会計方針
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。
(1)消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。
(2)引当金の計上基準
・退職給与引当金 将来の退職金支給のため、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
・設備緊急引当金 設備の緊急補修などに備え、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
(3)準備金の計上基準
・企画連携事業準備金 今後の事業開発に向けて、当期末において必要であると認められる金額を計上しています。
2. 事業費の内訳
事業費の区分は以下の通りです。 (単位:円)

科 目	創造環境事業部	地域連携事業部	事業費計
(1) 人 件 費			
給 与 手 当	6,558,697	18,557,461	25,116,158
通 勤 費	289,295	731,521	1,020,816
臨 時 雇 賃 金	496,000	552,000	1,048,000
法 定 福 利 費	1,205,323	3,213,264	4,418,587
人 件 費 計	8,549,315	23,054,246	31,603,561
(2) そ の 他 経 費			
諸 謝 金	1,200,030	3,954,398	5,154,428
委 託 費	0	17,866,858	17,866,858
助 成 費	0	16,100,000	16,100,000
制 作 費	491,270	110,700	601,970
消 耗 品 費	832,626	724,878	1,557,504
印 刷 費	158,220	1,577,230	1,735,450
報 宣 伝 費	4,950	4,176,096	4,181,046
旅 交 通 費	58,374	1,068,436	1,126,810
支 払 手 数 料	22,978	83,145	106,123
地 代 家 賃	0	1,614,047	1,614,047
会 場 借 上 費	0	198,892	198,892
通 信 費	50,525	1,808,371	1,858,896
会 議 費	192,563	662,568	855,131
設 備 費	1,388,609	310,332	1,698,941
リ ー ス 料	338,436	0	338,436
租 税 公 課	341,382	525,403	866,785
そ の 他 経 費 計	5,079,963	50,781,354	55,861,317
合 計	13,629,278	73,835,600	87,464,878

3. 使途等が制約された寄付等の内訳
使途が制約された補助金等の内訳は以下の通りです。 (単位:円)

名称	拠出元	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
STスポット運営補助金	横浜市	0	6,100,000	6,100,000	0
STスポットにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴う費用負担金	横浜市	0	512,000	512,000	0
芸術文化教育プログラム推進事業補助金	横浜市	0	34,796,000	34,796,000	0
地域文化サポート事業プラットフォーム補助金	横浜市	0	29,600,000	29,600,000	0
かながわボランティア活動推進基金21協働事業負担金	神奈川県	0	4,842,000	4,842,000	0
横浜アーツフェスティバル実行委員会補助金	横浜市	0	250,000	250,000	0
合計		0	76,100,000	76,100,000	0

貸借対照表

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和2年3月31日現在

科 目	金 額 (単位：円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金			
現金	149,353		
預金	34,209,465		
現金・預金 計	34,358,818		
その他流動資産			
未収入金	512,000		
仮払金1	80,000		
仮払金2	1,127,009		
前払費用	2,650,000		
その他流動資産 計	4,369,009		
流動資産合計		38,727,827	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金	1,260,000		
投資その他の資産 計	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			39,987,827
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	166,825		
前受金	1,270,240		
仮受金1	400,000		
仮受金2	1,127,009		
未払費用	1,679,202		
流動負債合計		4,643,276	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	8,667,449		
設備緊急引当金	5,055,478		
固定負債合計		15,222,927	
負債合計			19,866,203
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		16,244,162	
当期正味財産増減額		3,877,462	
正味財産合計			20,121,624
負債及び正味財産合計			39,987,827

財産目録

特定非営利活動法人 S T スポット横浜

令和2年3月31日現在

科 目	金 額 (単位:円)		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	149,353		
住信SBIネット銀行 法人第一支店 普通	15,566,782		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	3,419,756		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	8,667,449		
三菱UFJ銀行 横浜駅前支店 普通	6,555,478		
未収入金			
STスポットにおける新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴う費用負担金	512,000		
仮払金			
つり銭	80,000		
収益事業会計への仮払支出額	1,127,009		
前払費用			
ウェブ作成費	2,650,000		
流動資産合計		38,727,827	
2. 固定資産			
投資その他の資産			
敷金			
住友信託銀行(株)	1,260,000		
固定資産合計		1,260,000	
資産合計			39,987,827
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金			
源泉所得税等	166,825		
前受金			
令和2年度利用協力費(1団体)	73,500		
アサヒビール	400,000		
小金井市	796,740		
仮受金			
横浜市	400,000		
非収益事業会計からの仮受受入額	1,127,009		
未払費用			
未払消費税	848,800		
社会保険料等	830,402		
流動負債合計		4,643,276	
2. 固定負債			
企画連携事業準備金	1,500,000		
退職給与引当金	8,667,449		
設備緊急引当金	5,055,478		
固定負債合計		15,222,927	
負債合計			19,866,203
正味財産			20,121,624